

www.r-toolbox.jp

toolbox

木天板キッチンII型

目次

安全上のご注意	1
各部の名称 / 付属部品	2
シンク側 取り付け前の確認	3
基本取り付け要領	4
機器の設置	10
コンロ側 基本取り付け要領	12
機器の設置	17
開き扉の取り付け・取り外し・調整	18
引出し・スライド収納の取り付け・取り外し	
引出しの取り付け・取り外し・調整	
取り付け後の確認【清掃・点検】	20

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
 ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、
 死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。



注意

注意を無視した取り扱いをすると、
 物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



気を付けなければ
 いけない注意事項



やってはいけない
 注意事項



しなければいけない
 強制事項

株式会社 TOOLBOX










URL www.r-toolbox.jp
 E-mail contact@r-toolbox.jp

安全上のご注意





設置前にご確認ください

商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
設置後の損傷は保証対象外となります。

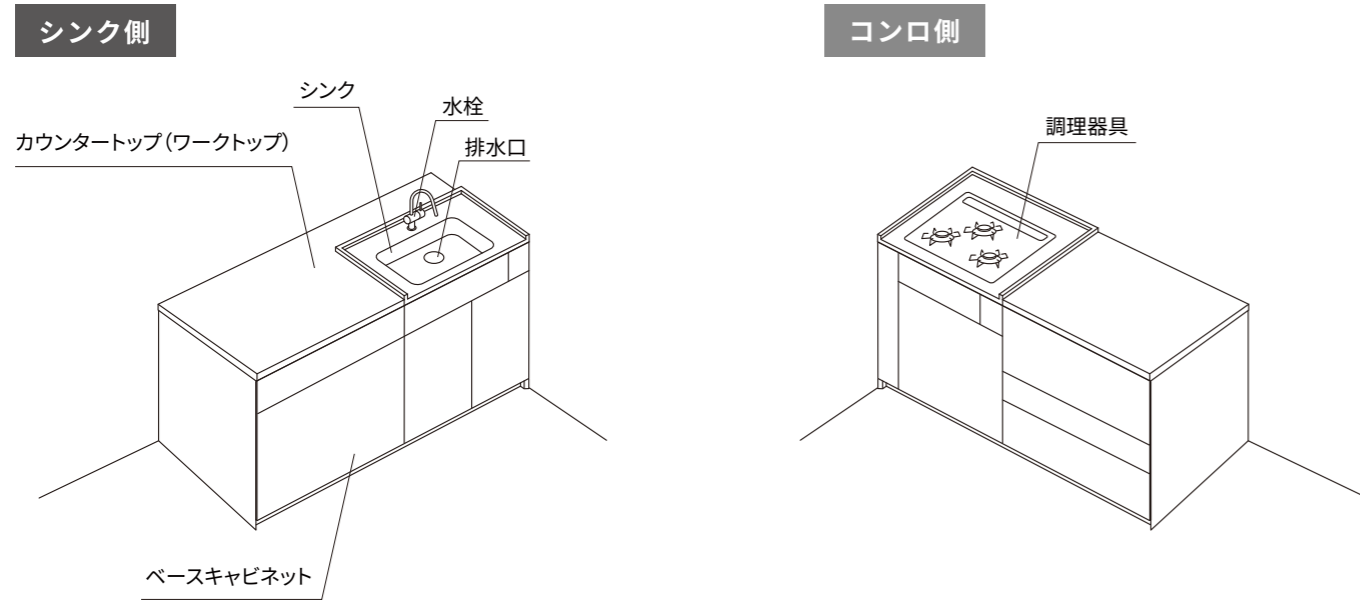
警告

-  **分解・改造はしない。**
破損してケガをする恐れがあります。
-  **水道・ガス・電気工事は、関連する法令・規定に従い必ず「有資格者」が行ってください。**
誤った接続や固定方法を行うと、ガス漏れ・漏水・発煙・火災・漏電の原因となります。
-  **本書指定位置（P.3）に取付用木下地（18mm以上の合板）が取り付けられていることを確認してください。**
木下地がしっかりと取り付けられていないと落下して、ケガをする恐れがあります。
-  **必ず、商品に同梱している専用の取付部品・ネジ類を使用してください。**
落下してケガをする恐れがあります。
-  **ネジ類で固定する際は、締めすぎて空回りしたり、ネジの十字溝を破損して、回しにくくならないようにして下さい。**
固定が不十分になり、落下してケガをする恐れがあります。
-  **キャビネット・ワークトップの上に乗ったり、もたれかかったり重量物を載せたりしないでください。**
落下してケガをする恐れがあります。
-  **シンクに排水金具を取り付ける際等、金属製品の切断面に手をかけるときは必ず保護手袋をしてください。**
金属製品の切断面で、ケガをする恐れがあります。
-  **移動等の際は2人以上でしっかりと持ち上げてください。**
落下してケガをする恐れがあります。
※PPバンドを持って運ぶと商品の重量でバンドが切れてしまう恐れがあるので十分に気をつけてください。
-  **設置仕上げに使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などにある注意表示に従い、正しく使用してください。**
人体に影響が出たり、使用部材の損傷や老化の原因になります。

注意

-  **取り付け完了後は、扉、ガタつき、ヒンジのゆるみがないことを確認してください。**
調整後はゆるめたすべての扉の指定のネジを硬く締め付けてください。
※締め付けが不十分な場合は、使用中に扉が落下してケガをする恐れがあります。
-  **棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットし確実に棚板が固定されていることを確認してください。**
棚板への差し込みが不十分な場合、棚板が落下してケガをする恐れがあります。
-  **ビルトイン機器（水栓金具・排水金具・レンジフード・調理器具・その他の機器）については、それぞれに付属の説明書・注意表示をご覧いただき、正しく取り付けてください。**
誤った取り付けを行うと、思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。
-  **排水金具の接続は、各部品を確実に締め付けてください。**
水漏れし、不快なおい・カビの発生・腐食の原因になります。

各部の名称



付属品

項目		シンク側	コンロ側	
ビス類	サイドパネル固定用ビス	パーティ皿ビス φ3.5×30	16	4
	キャビネット連結用ビス	コースレッド L28	20	12
	天板固定用ビス①	コースレッド L28	16	12
	天板固定用ビス②	トラスビス φ3.5×14	4	4
	壁固定用ビス①	コースレッド L51	4	12
	壁固定用ビス②(ペニンシュラ用)	コースレッド L90		4
	床固定ビス	コースレッド L28	6	
	ビスキャップ	ホワイト	60	60
	ワッシャー		60	60
	その他	棚ダボ	L/R型	各6
棚ダボ		丸型	24	2
食洗機フィルター(+固定ビス)		フロントオープン食洗機のみ 付属	1セット	
コンロフィルター(+固定ビス)		グリル付きタイプ/オープン タイプのみ付属		1セット
プラグ付き家具コンセント		スライド収納のみ		1
家具コンセント			1	
人工大理石の作業プレート			1	

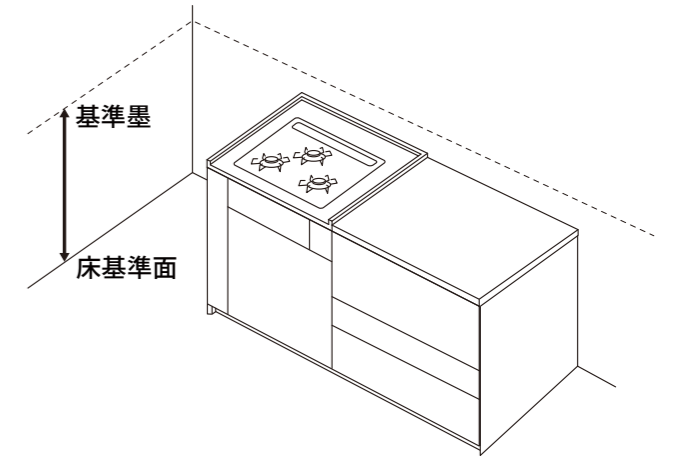
取り付け前の確認

床レベルの計測

基準墨を出して、床レベルの最も高いところを床基準とします。

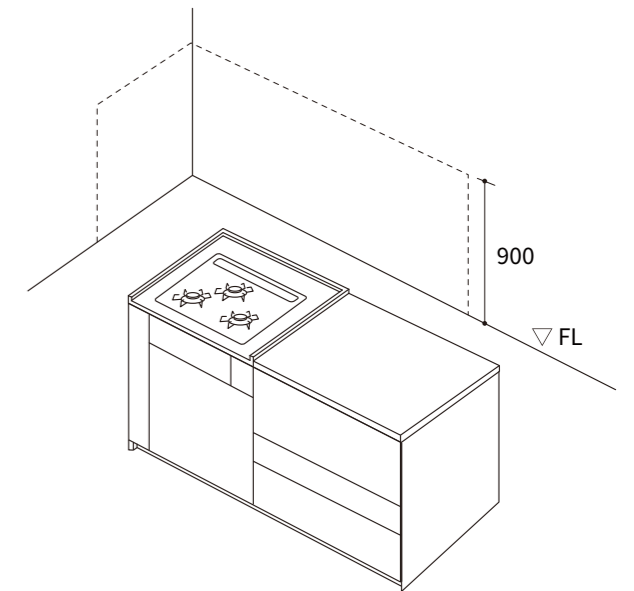
警告

❗ 取付用木下地(厚さ18mm以上の合板)が、指定通りに施工されていることを確認してから取り付けください。
取付用木下地がしっかり取り付けられていないと、落下してケガをする恐れがあります。



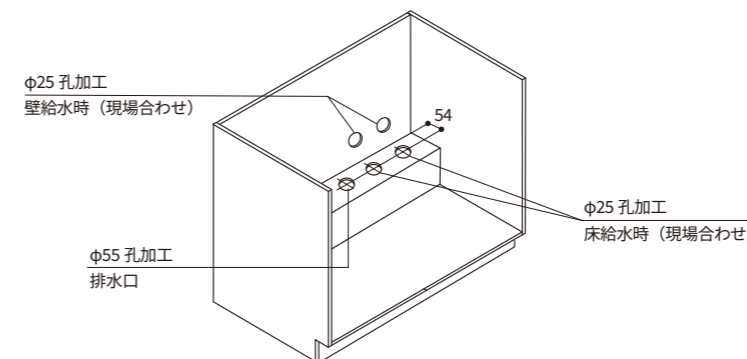
下地位置の確認・各基準線の墨だし

床基準より、下記の位置に取付用木下地がしっかり取り付けられていることを確認してください。
また、取り付け時の基準となる墨をだしてください。

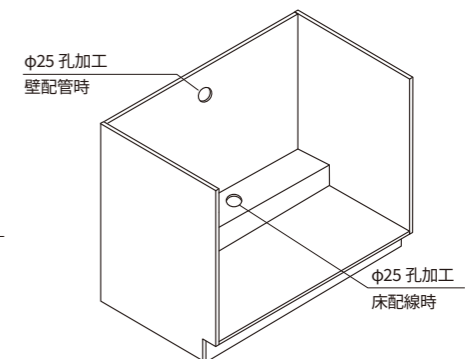


孔加工

シンク側 給排水孔加工



コンロ側 ガスは配管・IH電源コード用孔加工 現場配管・配線位置に合わせて孔加工をしてください。



基本取り付け要領 (シンク側)

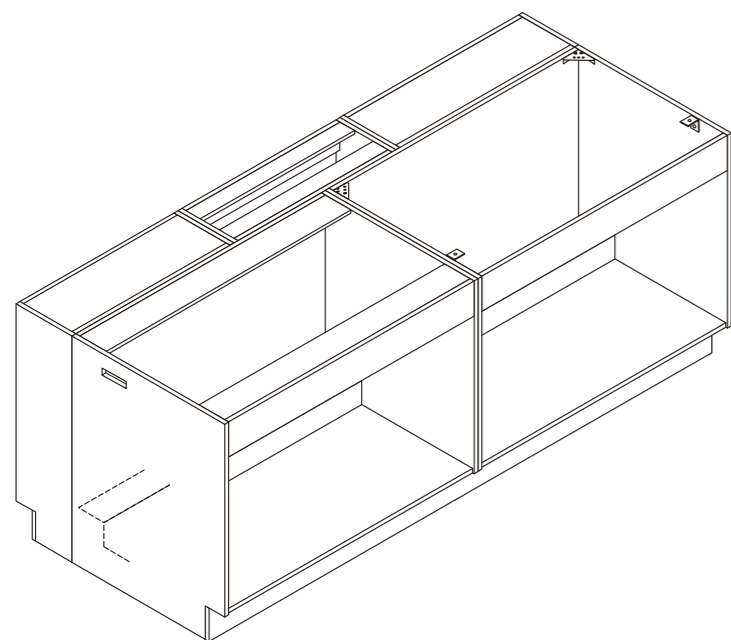
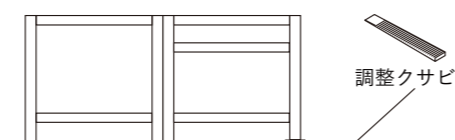
■ ベースキャビネットの取り付け

※ 施工前に、扉を外してください。

	食洗機なし	フロントオープン 食洗機タイプ	スライドオープン 食洗機タイプ
設置イメージ			
キャビネット連結イメージ			

① レベル調整 **重要**

床に不陸がある場合は、キャビネット上面が水平になるように「調整クサビ (現地調達)」などして調整してください。



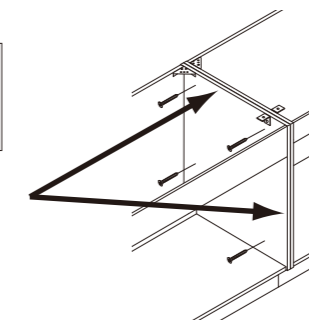
② キャビネット同士の連結

隣接するキャビネットは、前面・上面を面一に合わせて連結してください。キャビネット側板のガイド錐で下孔をあけ、キャビネット連結ビスで固定してください。

キャビネット連結用ビス
コーススレッド L28

側板前面と側板上面が揃うように調整してください。

※ 他のキャビネットも同様に各種ビスで固定してください。



③ 壁面への固定

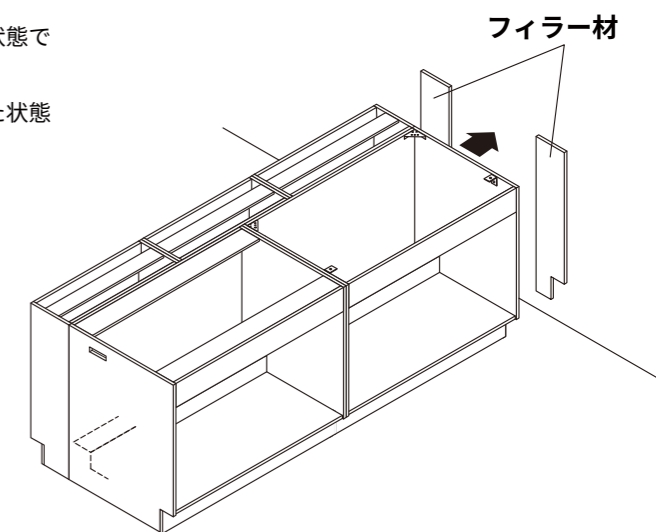
フィラー材は該当のキャビネットに取り付けられた状態で届きます。設置の際にそのまま壁とキャビネットの間に挟まった状態で取り付けをしてください。

建築巾木と干渉する場合は、建築巾木を一部切り欠くか、フィラーを加工しキャビネットを設置してください。

壁固定用ビスを使用し壁面に固定してください。

壁固定用ビス②
コーススレッドL90

ペニシユラの場合

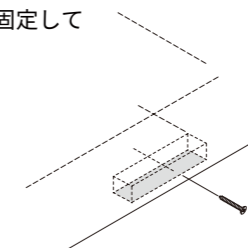
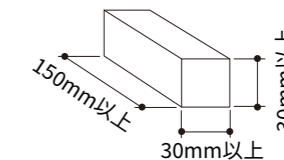


④ 床への固定

1. 受け材を床に固定し、サイドパネルを取り付けます。
2. キャビネットと受け材をビスで固定します。

床への固定の際、ビスが使えない場合 (床暖・石など) は、接着剤 (エポキシ系推奨) で固定してください。

受け材 ※現地調達



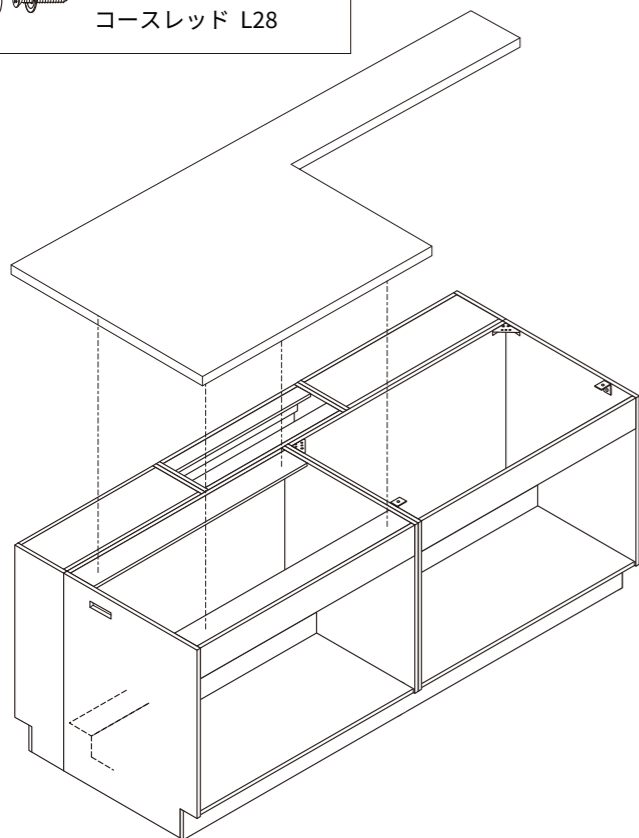
床固定ビス
コーススレッドL28

■ ワークトップの取り付け

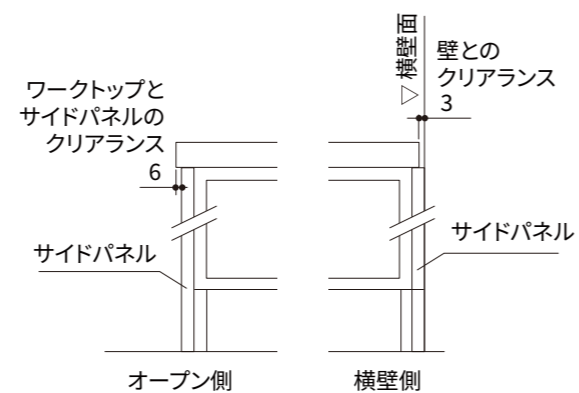
① 木天板の取り付け

取り付け金具部分は、天板固定ビスで固定してください。

天板固定用 ビス①
コースレッド L28



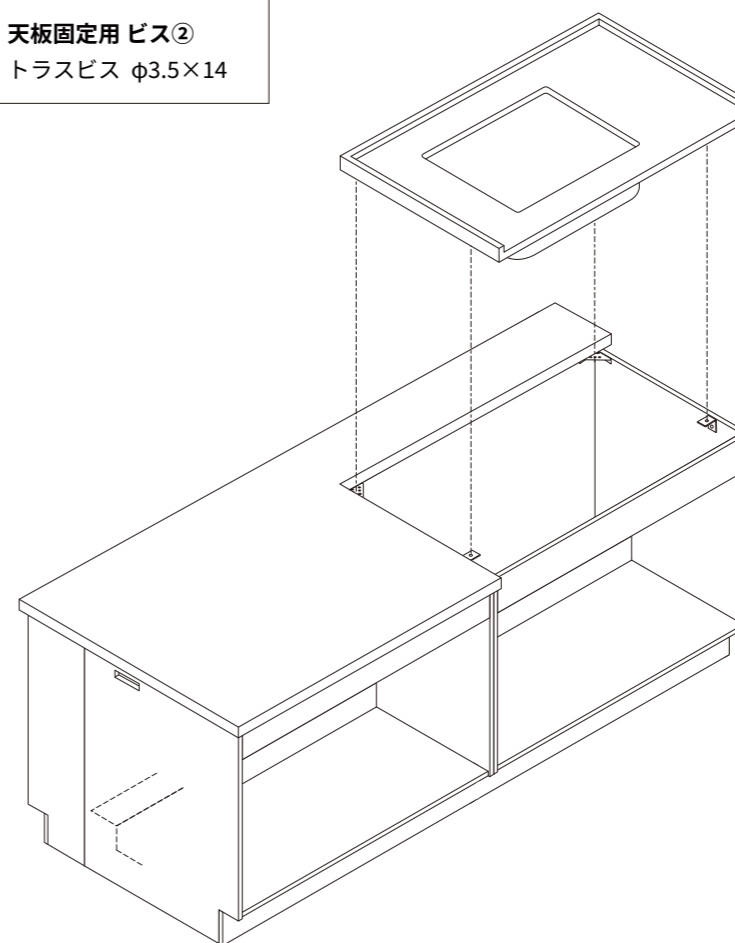
横壁とワークトップのクリアランス



② ステンレス天板の取り付け

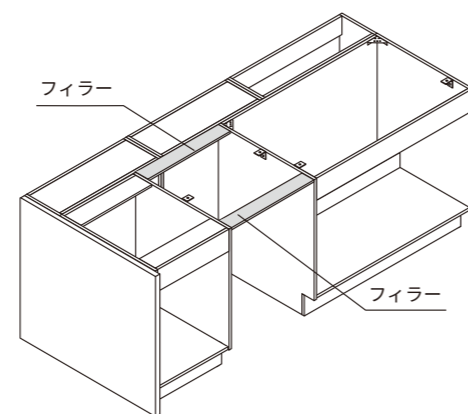
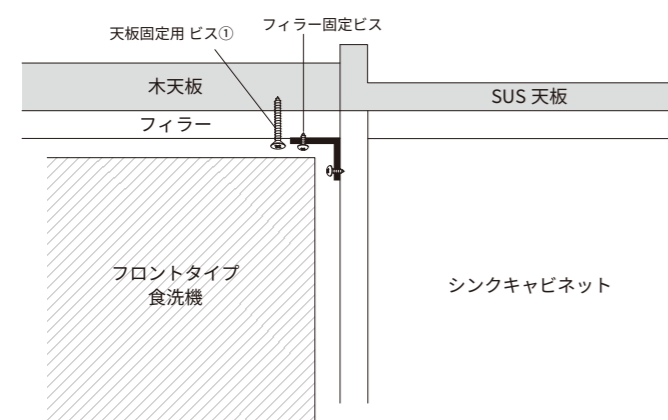
取り付け金具部分は、天板固定ビスで固定してください。

天板固定用 ビス②
トラスビス φ3.5×14



フロントタイプ食洗機を選択した場合

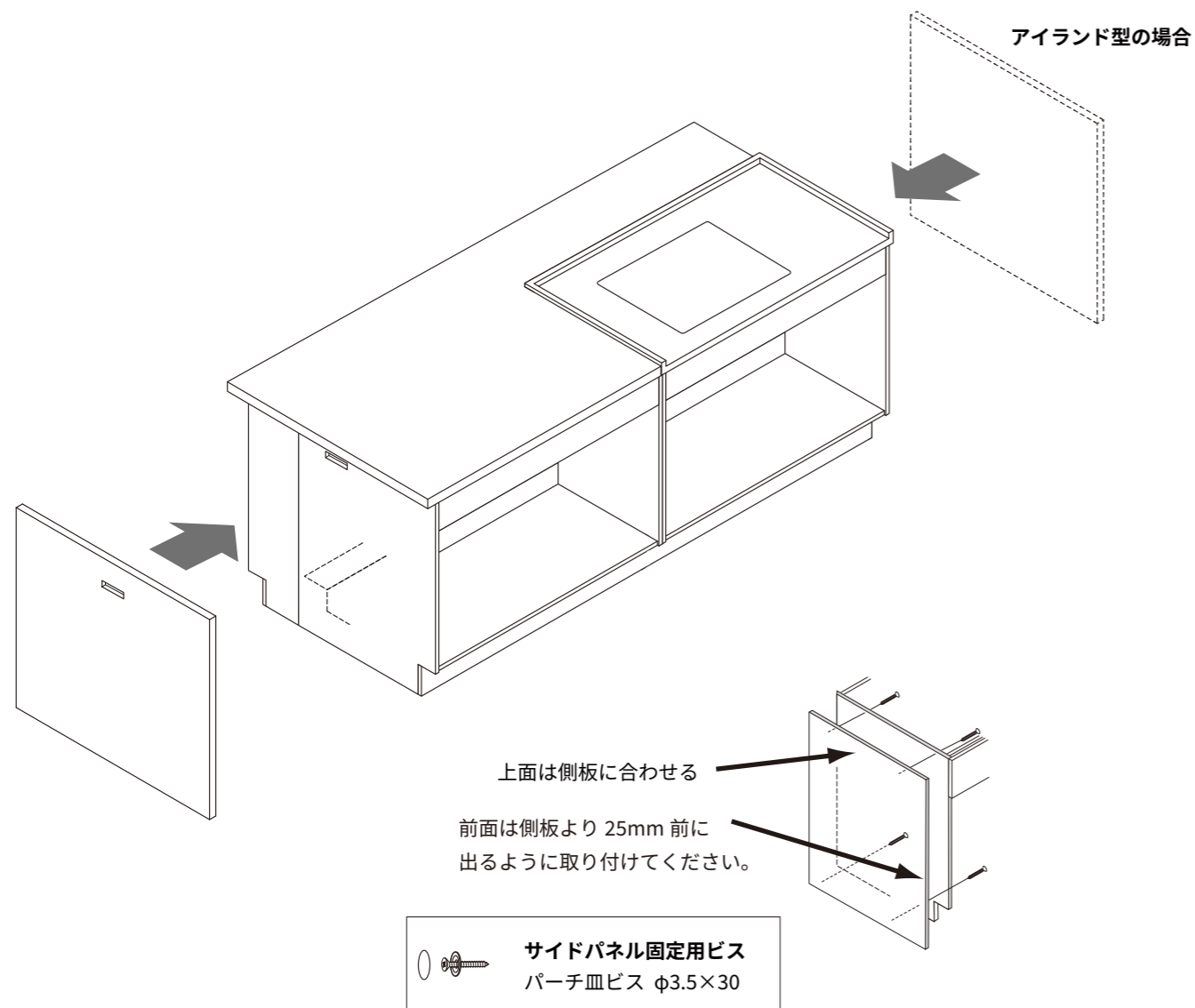
付属の天板固定L金具を使用し、フィラーを取り付けて、木天板を固定してください。



■ サイドパネルの取り付け

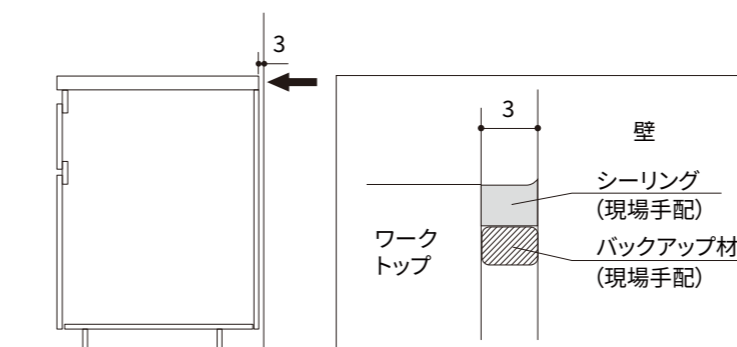
※ 施工前に、引出し・扉を外してください。(P18.19 参照)

キャビネット側板のガイド錐で下孔をあけ、サイドパネルを取り付けてください。



■ シーリング処理

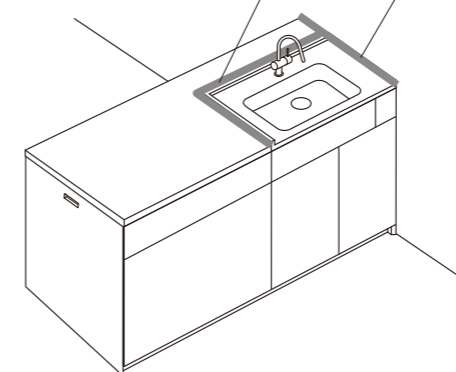
シーリング材が沈まないように、シーリング施工前に必ずバックアップ材を入れてください。



■ シーリング位置

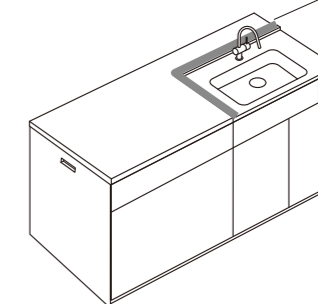
ペニンシュラ型

壁とワークトップの間
ステンレス天板と木天板の間



アイランド型

ステンレス天板と木天板の間



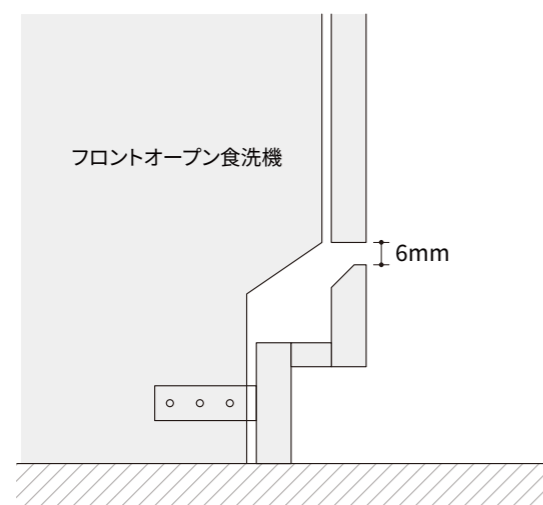
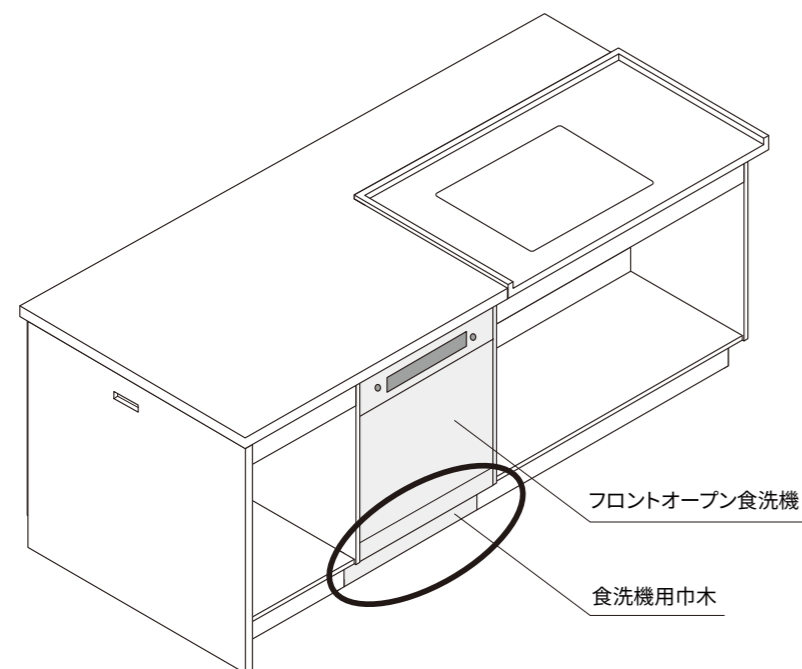
機器の設置

■ 食洗機の取り付け

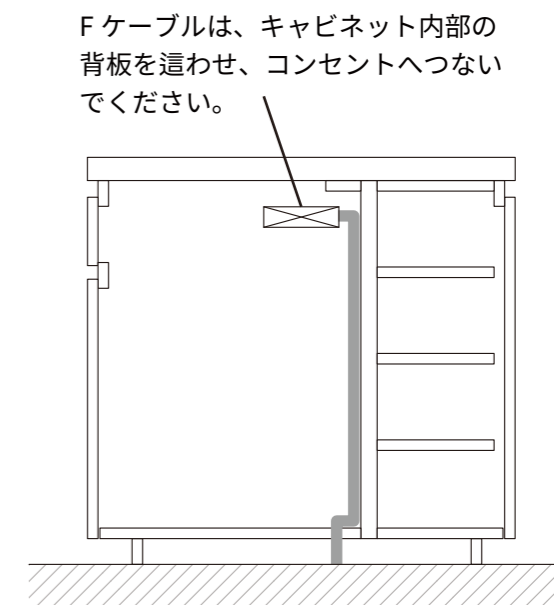
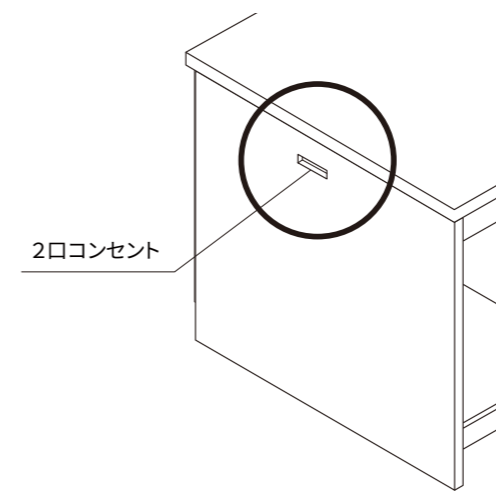
各機器の取付説明書をご参照の上、機器を取り付けを行ってください。

フロントオープン食洗機用巾木の取り付け

同梱の食洗機用巾木を、食洗機に付属している金物を使用し取り付けてください。

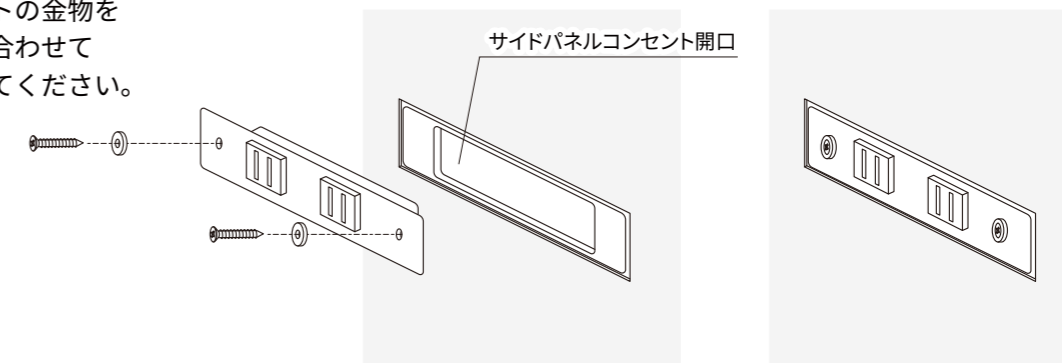


■ コンセント (サイドパネル) の取り付け



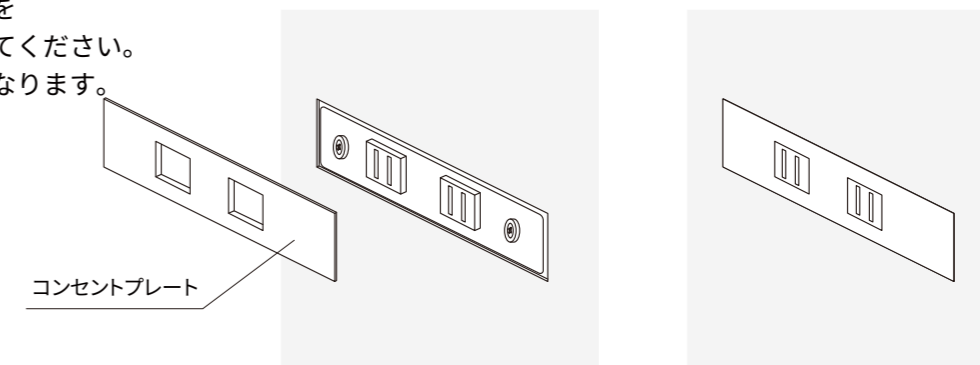
① ビスで固定

家具コンセントの金物を付属の磁石と合わせてビスで固定してください。



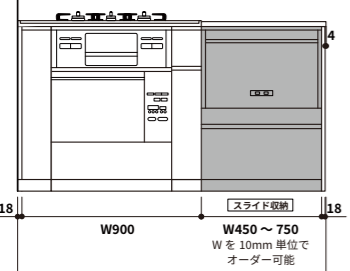
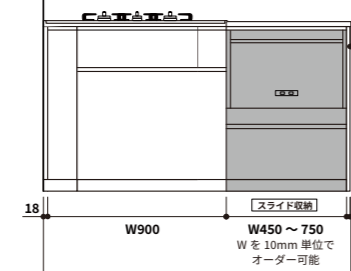
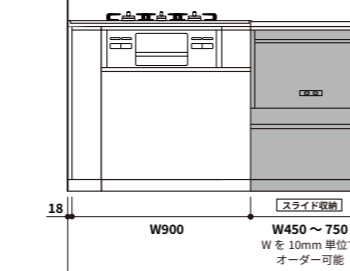
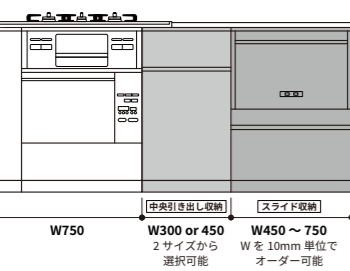
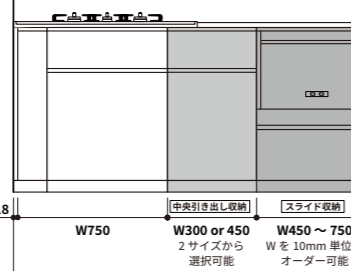
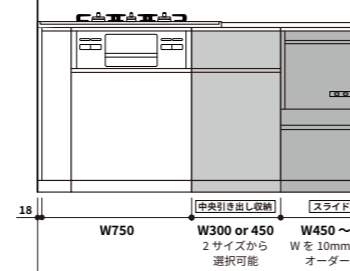
② サイドパネルにはめ込む

コンセントプレートをサイドパネルにはめてください。磁石での取り付けとなります。



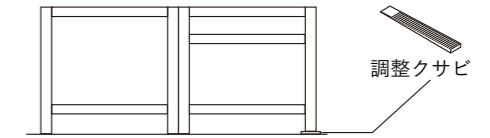
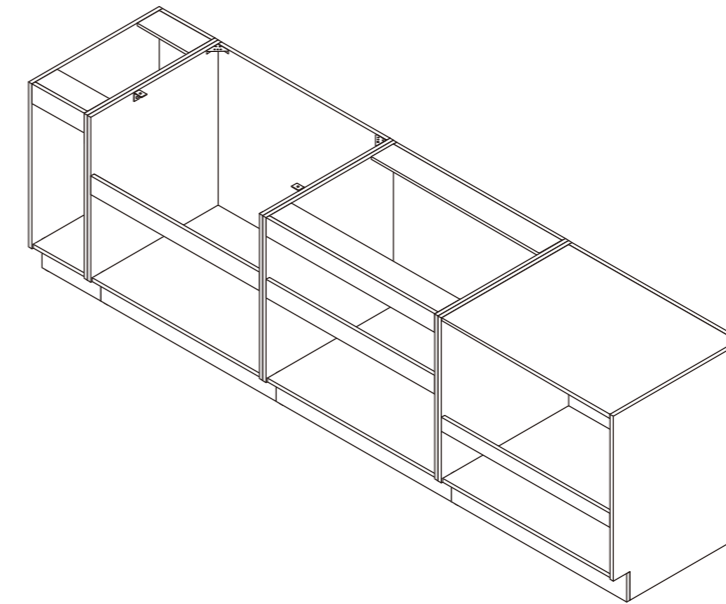
基本取り付け要領 (コンロ側)

■ **ベースキャビネットの取り付け** ※ 施工前に、扉を外してください。

オープンタイプ	グリルレスタイプ	グリル付きタイプ
<p>W1390~1690</p>  <p>W900 W450~750 Wを10mm単位で オーダー可能 キッチンW=940 + スライド収納W</p>	<p>W1390~1690</p>  <p>W900 W450~750 Wを10mm単位で オーダー可能 キッチンW=940 + スライド収納W</p>	<p>W1390~1690</p>  <p>W900 W450~750 Wを10mm単位で オーダー可能 キッチンW=940 + スライド収納W</p>
<p>W1540~1990</p>  <p>W750 W300 or 450 Wを10mm単位で 2サイズから 選択可能 W450~750 Wを10mm単位で オーダー可能 キッチンW=790 + 中央引き出し収納W + スライド収納W</p>	<p>W1540~1990</p>  <p>W750 W300 or 450 Wを10mm単位で 2サイズから 選択可能 W450~750 Wを10mm単位で オーダー可能 キッチンW=790 + 中央引き出し収納W + スライド収納W</p>	<p>W1540~1990</p>  <p>W750 W300 or 450 Wを10mm単位で 2サイズから 選択可能 W450~750 Wを10mm単位で オーダー可能 キッチンW=790 + 中央引き出し収納W + スライド収納W</p>

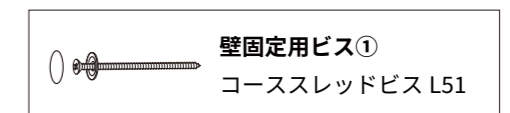
① レベル調整 重要

床に不陸がある場合は、キャビネット上面が水平になるように「調整クサビ (現地調達)」などして調整してください。



③ 背壁への固定

壁固定ネジで取り付けてください。
キャビネット側板のガイド錐で下孔をあけ、壁固定用ビスで固定してください。



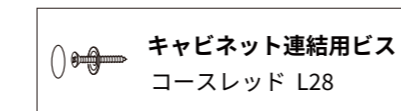
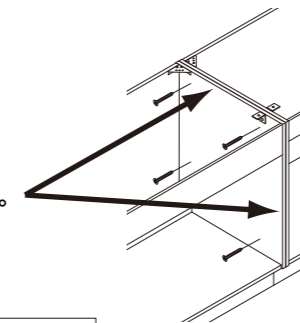
現場の不陸などを想定し、キャビネットと背壁の間にクリアランスを設けています。木片など適宜調整材をご使用いただき、ビス固定をお願いします。

② キャビネット同士の連結

隣接するキャビネットは、前面・上面を面一に合わせて連結してください。
キャビネット側板のガイド錐で下孔をあけ、キャビネット連結ビスで固定してください。

側板前面と側板上面が揃うように調整してください。

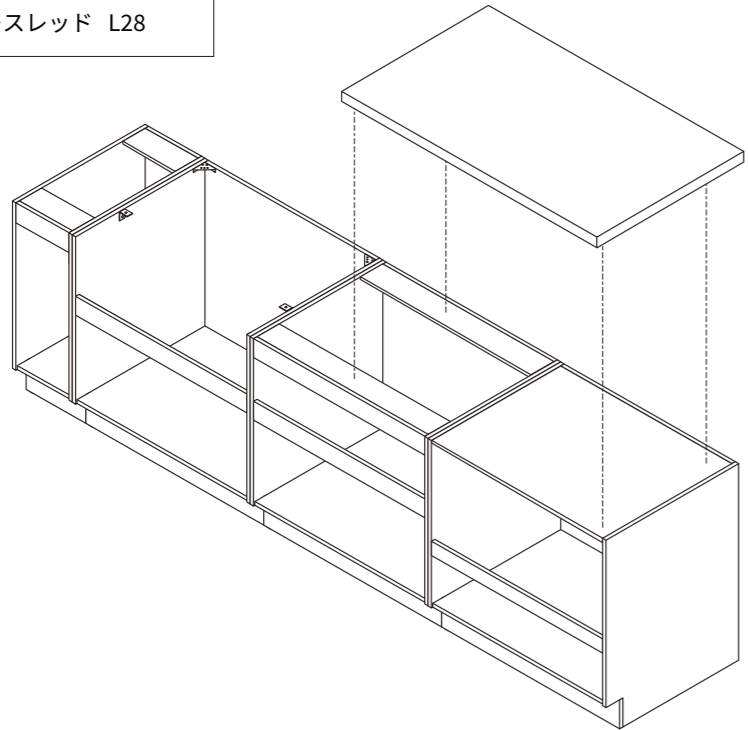
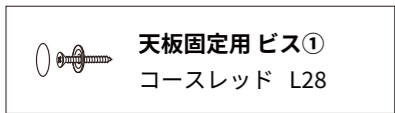
※ 他のキャビネットも同様に各種ビスで固定してください。



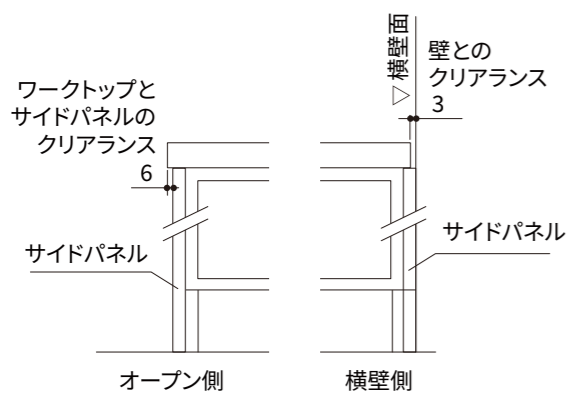
■ ワークトップの取り付け

① 木天板の取り付け

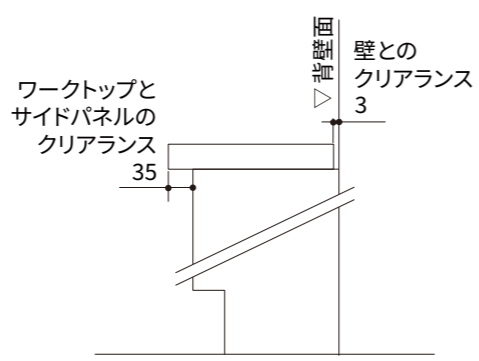
取り付け金具部分は、天板固定ビスで固定してください。



横壁とワークトップのクリアランス

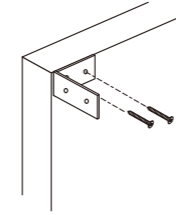


背壁とワークトップのクリアランス

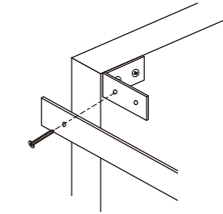


③ コンロフィラーの取り付け

1. コンロを取り付ける両脇のキャビネットの下穴に、フィラー用L金具をビス留めします。

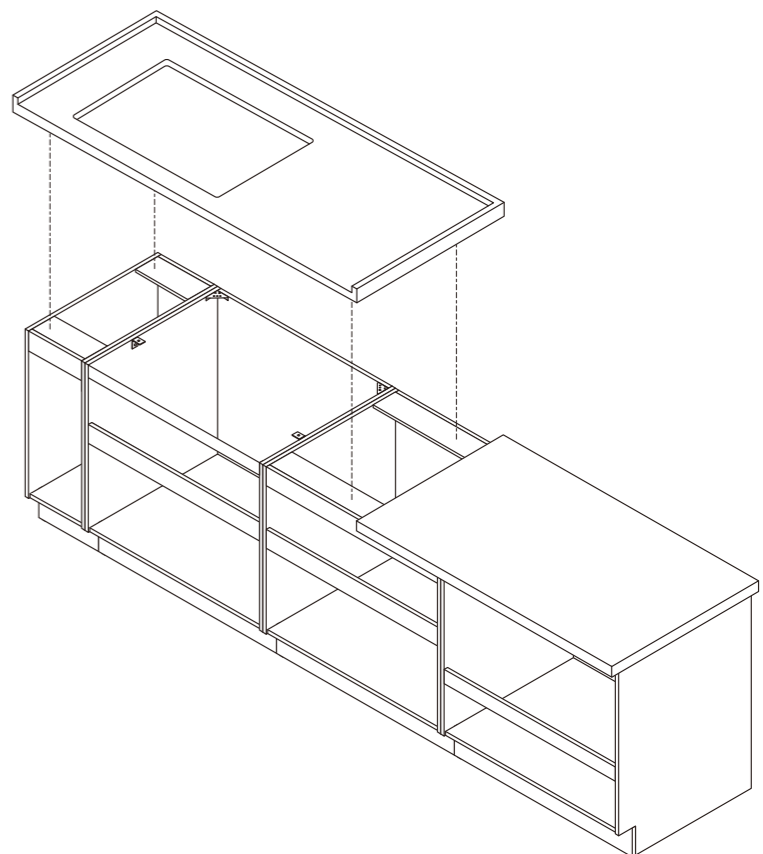
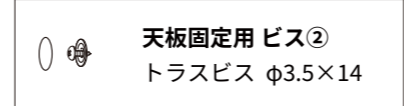


2. L金具にフィラーをビスで固定します。



④ ステンレス天板の取り付け

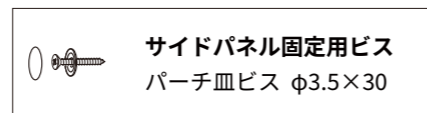
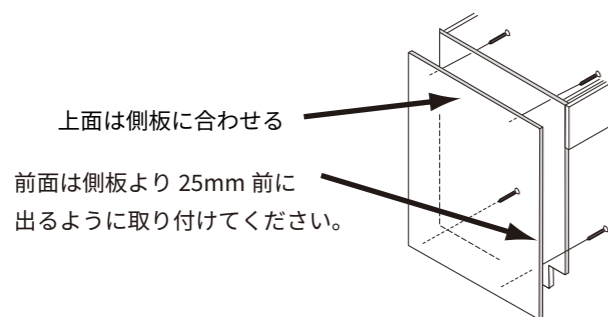
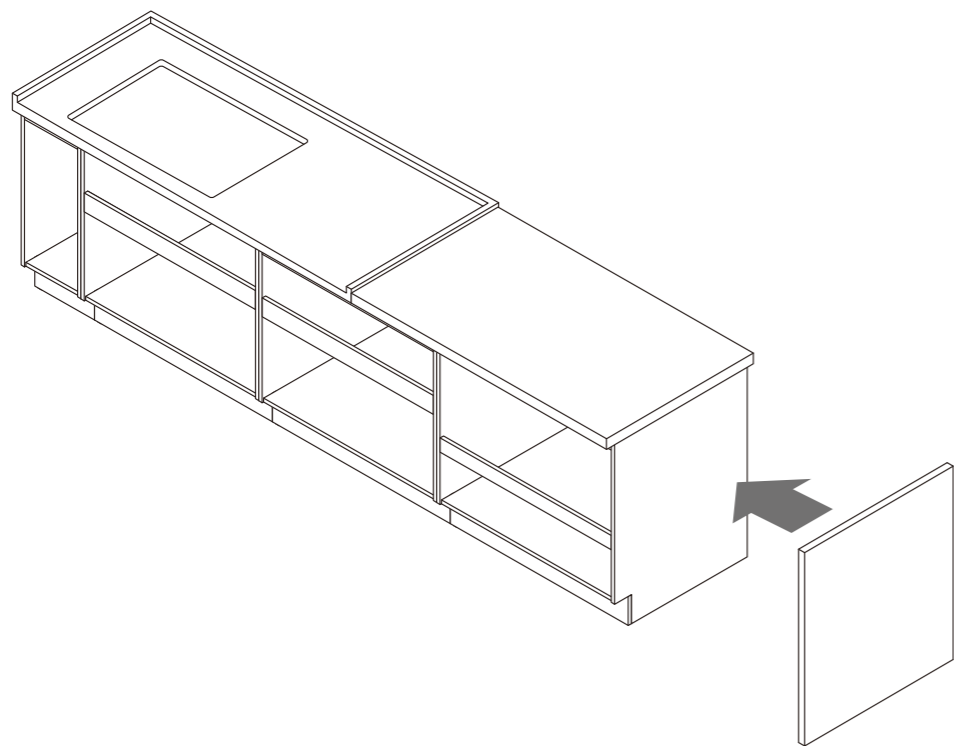
取り付け金具部分は、天板固定ビスで固定してください。



■ サイドパネルの取り付け

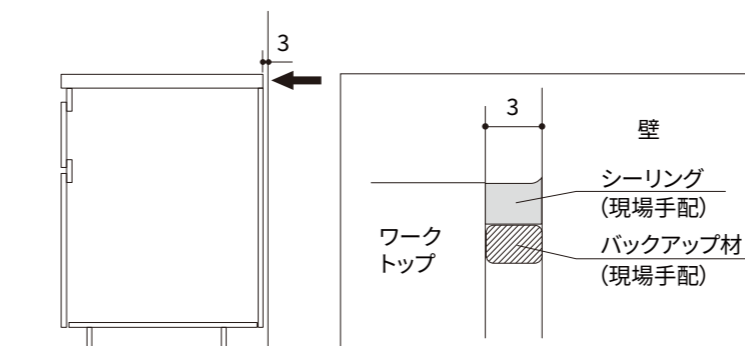
※ 施工前に、引出し・扉を外してください。(P19.20 参照)

キャビネット側板のガイド錐で下孔をあけ、サイドパネルを取り付けてください。

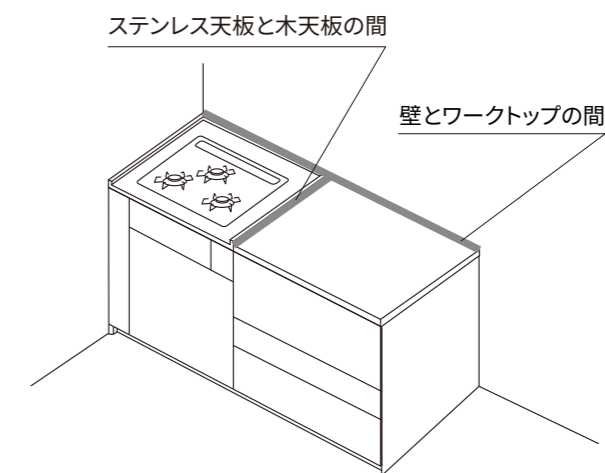


■ シーリング処理

シーリング材が沈まないように、シーリング施工前に必ずバックアップ材を入れてください。



■ シーリング位置

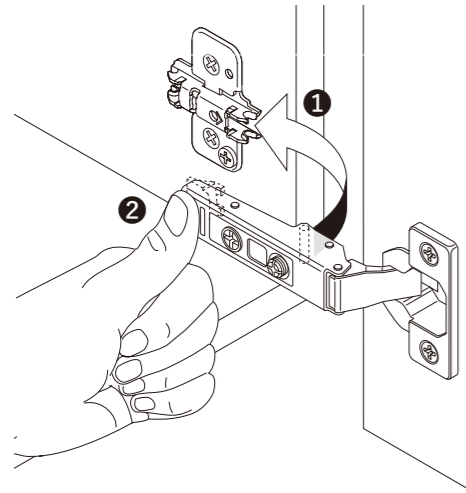


機器の設置

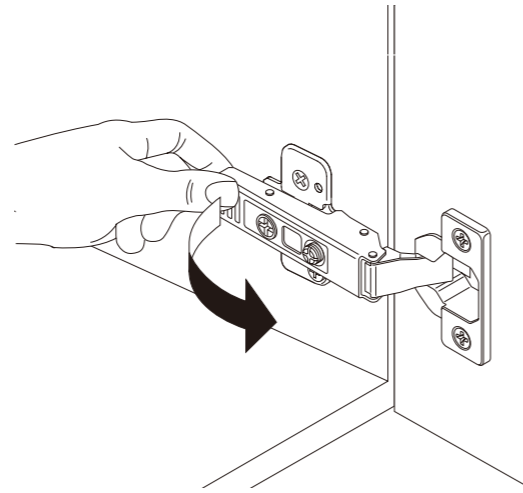
コンロやグリルなどの機器の設置は、メーカーの施工説明書をよく読んで取り付けてください。

開き扉の取り付け・取り外し・調整

■扉の取り付け



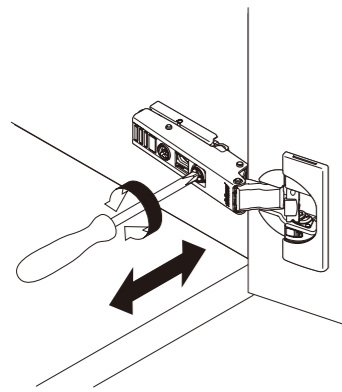
■扉の取り外し



■扉の調整

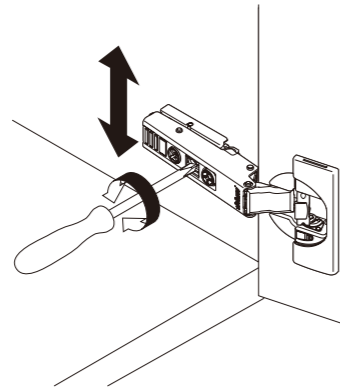
左右調整

左・右へ1mm

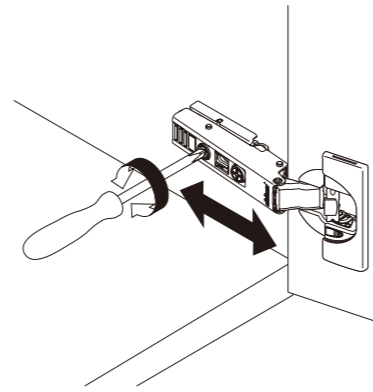


上下調整

±2mm



奥行調整

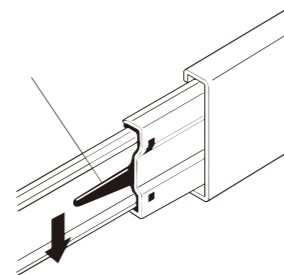


⚠ 注意 | 扉が正しく取り付けられていないと、扉が落下してケガをする恐れがあります。上記の注意事項を確認して、確実に取り付けてください。

⊘ 取り付け後、数回開閉を繰り返して、扉が正常に作動することを確認してください。

引出し・スライド収納の取り付け・取り外し

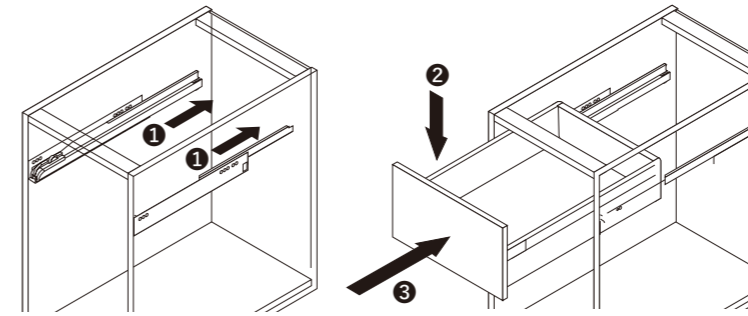
クリップを押し下げると、引出しレールが外れます。



引出しの取り付け・取り外し・調整

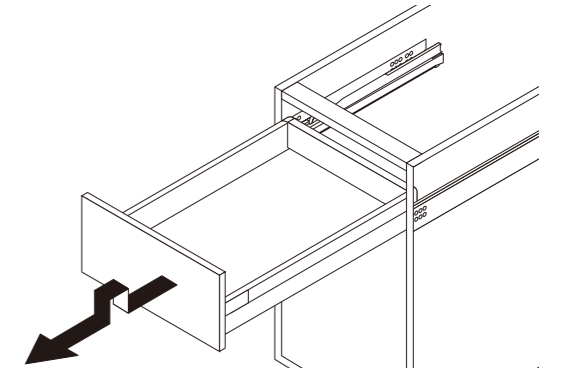
■引出しの取り付け

- ① レールを奥まで押し込んでください。
- ② 引出しをレールに載せてください。
- ③ 引出しを奥まで押し込んでください。
(「カチッ」と音がしてロックされます。)



■引出しの取り外し

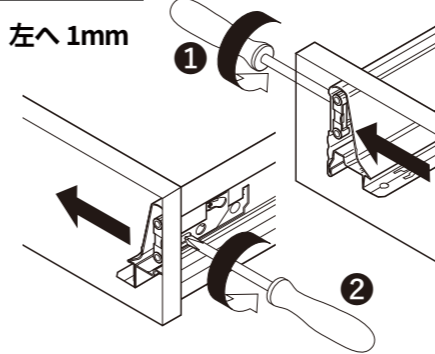
- ① 引出しを完全に引き出してください。
- ② 引出しの手前を斜めにもちあげるとレールから引出しがはずれ、さらに手前に引くと取り出すことができます。



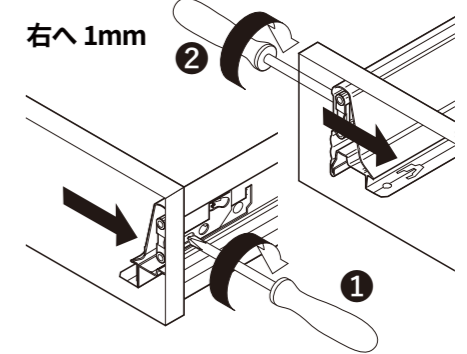
■引出しの調整

左右調整

左へ1mm

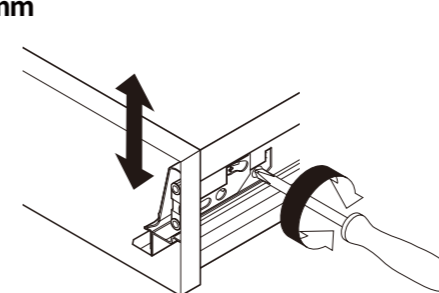


右へ1mm

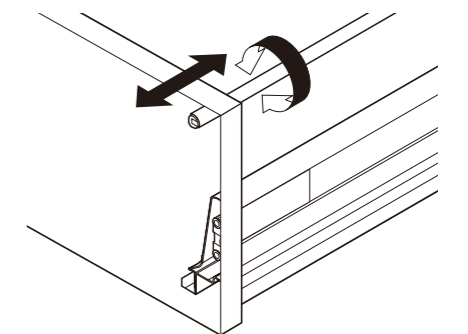


上下調整

±2mm



傾き調整






⚠ 注意 | 引出しが正しく取り付けられていないと、引出しが落下してケガをする恐れがあります。上記の注意事項を確認して、確実に取り付けてください。

⊘ 取り付け後、数回出し入れを繰り返して、引出しが簡単に外れないか確認してください。

取り付け後の確認【清掃・点検】

■ **清掃** 取り付けが完了しましたら、清掃をおこなってください。


注意

-  シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤（酸性洗剤・アルカリ性洗剤・塩素系洗剤）・漂白剤は使用しないでください。
変色の原因になります。
-  洗剤・漂白剤・殺虫剤・防腐剤等の薬品を使用する際は、容器等に記載の注意事項に従いご使用ください。
使用方法を誤ると、変色・変形・劣化の原因になります。
-  ワークトップやシンク内に水道工事等で出た鉄粉・鉄くず・砂などが落ちている場合は、必ず水で洗い流してください。
付着した箇所がもらい錆の原因になります。

■ **点検（取付完了報告書）** 下記の表に従い、仕上がりの点検をしてください。

キャビネット	キズ・汚れ・残材がない。
	各キャビネット同士が連結されている。
	壁面と固定されている。
	ネジキャップの取り付け忘れがない。
	扉・引出しに傾き・ガタつきがない。
	扉・引出しが調整されている。
	ソフトクロージング機能が正常に作動する。
ワークトップ・シンク	ヒンジカバー・引出しサイドキャップが取り付けられている。
	キズ・汚れ・残材がない。
	ワークトップとキャビネットが連結されている。
	ワークトップが水平になっている。
	水漏れがない。
資料	トラップが取り付けられている。
	シンクに水滴が残っていない。
養生	取扱説明書にシンクキャビネット引出しに収納されている。
	養生されている。 製品の梱包材等を利用して、引き渡しまでキズがつかないよう養生してください。

注意

-  **試運転を実施してください。**
機器類（レンジフード・調理器・水栓・食器洗い乾燥機等、メーカーの取扱説明書がある商品）は、取扱説明書に基づき試運転し、正常に機能することを確認してください。